



K中通信

学校だより第1号
令和5年4月10日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます。(知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます。(体・開)

【ホームページ】 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

新年度を迎えて

校長 佐藤 由利

7日の始業式・入学式は、朝から天候が心配されましたが、午前も午後も式の開始時間を見計らったかのように雲の間から太陽が顔を覗かせ、新年度のスタートに希望の光が差し込んだように感じました。

今年度、軽井沢中学校は新入生100名を迎え、全校生徒256名、教職員は非常勤講師等も含め、31名でのスタートとなりました。今年は、地域からは学校運営協議会の皆さまにご臨席を賜り、保護者の皆さまにも全て会場に入らせていただいて入学式を執り行うことができました。「新入生紹介」の場面での新1年生の返事が素晴らしく、中学校生活に向けての決意が伝わってきました。

始業式では、「友達同士の関わりも、行事や学習、学校生活への取り組みも、先入観や思い込みを捨て、いろいろな視点をもって可能性をひろげていってほしい。」「全校生徒皆が、お互いの良さを認め合いながら、自由な発想のもと、いろいろなことにチャレンジし、成長できる1年にしていこう。」という話をしました。在校生、新入生ともに、今年度どんな風に成長する姿を見せてくれるか、とても楽しみです。

保護者の皆さまや地域の皆さまにおかれましては、今年度もこれまで同様に生徒たちを温かく見守っていただき、本校の教育活動に御理解と御支援をいただけますようお願い申し上げます。

今年度こそ

副校長 高橋 直克

軽井沢中学校副校長として2年目の春を迎えることができました。今年度も皆さんと一緒に活動できることを嬉しく思っています。

昨年度は、様々な学校行事をコロナ禍以前に近い形式で実施することができました。皆さんが生き生きと活動する姿を目にして、人と人が一緒に活動することの素晴らしさを実感することができた1年間でした。

しかし、その姿を保護者や地域の方々に見ていただく機会が少なかったことは、とても残念に思っています。今年度は、保護者や地域の方々に皆さんが生き生きと活動する姿を直接ご覧いただけるよう、感染症対策はもちろん、いろいろな方法を考えていきたいと思っています。

保護者の皆さまや地域の皆さまには、昨年度は様々な場面でお心遣いを頂き、本当にありがとうございました。今年度も引き続き頑張っ参りますので、変わらぬご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。